

モルタル面及びせっこうプラスター面の下地調整(改修)

2節 下地調整

7. 2. 1 施工一般

塗替えて、表 7.2.1 から表 7.2.7 までのRB種の場合の既存塗膜の除去範囲は、特記による。
特記がなければ、劣化部分は除去し、活膜部分は残す。

7. 2. 5 モルタル面及びせっこうプラスター面の下地調整

モルタル面及びせっこうプラスター面の下地調整は表7. 2. 4により、種別は**特記**による。
特記がなければRB種とする。

表7. 2. 4 モルタル面及びせっこうプラスター面の下地調整

工 程		種 別			塗 料 そ の 他			面の処理
		RA種	RB種	RC種	規格番号	規格名称	種 類	
1	既存塗膜の除去	○	—	—	—			ディスクサンダー、スクレーパー等により、全面除去する。
		—	○	—	—			ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化し脆弱な部分を除去し活膜は残す。
2	汚れ、付着物除去	○	○	○	—			素地を傷つけないようにワイヤーブラシ等により、除去する。
3	ひび割れ部の補修	○	○	—	—			4章[外壁改修工事]によるひび割れ部の補修は 特記 による。
4	吸込み止め	○	○	—	JIS K 5663	合成樹脂 エマルジョンシーラー	—	既存塗膜を除去した範囲に塗り付ける。
5	穴埋め・パテかい	○	○	—	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	ひび割れ、穴等を埋めて、不陸を調整する
					JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	
6	研磨紙刷り	○	○	—	研磨紙P120～220			乾燥後、表面を平らに研磨する
		—	—	○	研磨紙P240～320			
7	パテしごき	○	—	—	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	全面をしごき取り、平滑にする
					JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	
8	研磨紙刷り	○	—	—	研磨紙P120～220			乾燥後、全面を平らに研磨する

(注) 1.アクリル樹脂系非水分散形塗料塗りの場合、工程4の吸込み止めは、塗料の製造所の指定するものとする。

2.合成樹脂エマルジョンパテは外部に用いない。